

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし
----	----

応募概要	分野	演劇	種目	人形劇
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	無	応募総企画数	
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※			

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	かわせみざ			
	制作団体名	かわせみ座			
	代表者職・氏名	代表・山本由也		団体ウェブサイトURL	
				https://www.kawasemiza.com	
	制作団体所在地	〒	191-0024	最寄駅(バス停)	高幡不動駅
		東京都日野市万願寺5-12-1			
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input checked="" type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です			
	ふりがな				
	公演団体名				
	代表者職・氏名			団体ウェブサイトURL	
	公演団体所在地	〒		最寄駅(バス停)	
	制作団体 設立年月	昭和31年10月			
	制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等	
		山本由也(代表・人形・美術・操演) 原きよ(制作・俳優) 三橋和美(会計・経理)		主な俳優氏名...山本由也、原きよ、三橋和美、森永あいり、加入条件...代表を山本由也と定め、原きよを副代表とする。新入組織員は、代表及び副代表の合議により決定する。	
	事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く		本事業担当者名	原きよ
	経理処理等の 監査担当の有無	有		経理担当者	三橋和美
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス			電話番号
		information@kawasemiza.com			0425114092

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>1975～1982 代表の山本はプロの劇団を経て、竹田人形座(東京都無形文化財)へ入団。竹田扇之助氏、竹田喜之助両氏に師事する。</p> <p>1982.10 代表の山本が独立し、「かわせみ座」を創立。独自の劇人形を駆使して活動を始める。ジャンルの違うアーティストと共演するなど、人形を遣った新たな舞台芸術を発表し続けている。</p> <p>1987～ 脚本・演出家の吉永淳一先生のご指導のもと、芸術的創作活動に励む。</p> <p>1990 名古屋をどり「この子の可愛さ限りなし」日舞の家元・西川右近氏と共演。作演出/松山善三</p> <p>1995 青山円形劇場企画・主催「プラテーロ」人形製作・主演</p> <p>1999～ スタジオジブリの高畑勲氏に演出を依頼した「まほろばのこだま」を制作。国内外で公演</p> <p>2000 「まほろばのこだま」東京2000年祭「千年文化芸術祭」入選作品賞受賞</p> <p>2000 「まぬけなリュウの話」世田谷パブリックシアター主催公演</p> <p>2000 「バーレルセルの森にて」中央児童福祉審議会特別推薦作品賞受賞</p> <p>2013～ 音楽家をゲストに即興性の高いライブ「SessionYoshiya」を開始。</p> <p>2020 山本が45年間に手掛けた人形の作品集「GREAT MARIONETTE」(カラー200頁)を出版。</p> <p>海外では1996年スペイン、1999年と2001年にはアメリカ、2002年モロッコ、2003年韓国、2008年メキシコ・セルヴァンティーノ、レオン、メキシコシティ、2015年リトアニアとエストニア、2013年と2016年にはアメリカ・ナッシュビルにて「ことばのないおもちゃ箱(Silent Poems)」の招待公演を行う。</p> <p>2005 「まほろばのこだま(Where Spirits and Fairies Poems)」イタリア・英国、2007年香港で公演。</p> <p>2012 中国の成都、南充にて「ことばのないおもちゃ箱(Silent Poems)」公演を行い、ウニマ・第21回世界人形フェスティバルで優秀作品賞受賞</p> <p>1988から毎年開催されている「喜之助人形劇フェスタ」において毎年、招待公演を受けている。</p>
	学校等における公演実績	<p>年間、約10～20公演を小・中学校を対象におこなっている。</p> <p>平成17年度～21年度に次代を担う子どもの文化芸術体験事業で「ことばのないおもちゃ箱(Silent Poems)」を小・中学校を対象として公演。</p> <p>平成25年度～令和3年度に文化芸術による子ども育成推進事業で「まほろばのこだま」を小・中学校を対象に公演。</p> <p>令和6年度～7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)で「SessionYosiya・語り」を小・中学校を対象に公演中。</p>
	特別支援学校等における公演実績	<p>これまで約10校の特別支援学校での公演及びワークショップを実施。ワークショップも普通学級と同等の内容のものを、優しくかみくだいて実施し、好評を得ている。</p> <p>ツアーの中で特別支援学校でのワークショップを実施している。</p> <p>原きよの朗読活動…平成30年～令和4年「文化芸術による子供の育成事業」において「森の五重奏団」「風の五重奏団」との共演・上演。 日本語のきれいな響きを音楽にのせることで、言葉を体感できたと好評を得た。</p> <p>令和4年「文化芸術による子供育成派遣事業～コミュニケーション能力向上事業」愛知県瀬戸つばき特別支援学校にて3回に分けて「言葉と身体ワークショップ」実施</p> <p>その都度、学校との振り返りを行い授業内容・進め方を決め、回を重ねるごとに発話・発声が困難な生徒も積極的に参加する姿が見られ継続実施を望む声を多くいただいた。</p>

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://www.youtube.com/watch?v=rvlW3rIRXaE	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	
		PW:	

一般区分・特別エリア区分共通

No.2(実演芸術)

別添	あり														
【公演団体名											かわせみ座			】	
本公演・ワークショップの内容	対象	小学生(低学年)			○			小学生(中学年)			○				
		小学生(高学年)			○			中学生			○				
	企画名	表現力豊かなマリオネットと生演奏と語りが織りなす、優れた本物の舞台表現をどうぞ													
	企画のねらい	世界に類の無い独自のマリオネットの豊かな表現力。舞台世界を変化自在に構築する確かな即興演奏。日本文学の美しい詩や短歌、言葉をモチーフに綴られる語り。この三者が織りなす舞台は子ども達の空想力と感性を育みます。日本のアニミズムには、生き物たちや自然環境への想像力と共生の思想があります。生の舞台芸術鑑賞の機会が減少している昨今、確かなキャリアを持つ出演者による本物の舞台芸術を肌で感じてほしい。													
	演目概要・演目選択理由	「SessionYoshiya・語り」は、2013年から毎年開催している多ジャンルの音楽家とのSession公演を経て、2022年に語り(俳優、声優)を交えてコラボした作品です。美しい日本語の語り(昭和の詩人の詩、短歌、言葉遊び)、遊び心いっぱいに変幻自在な生演奏とかわせみ座独自の人形表現が融合する舞台芸術です。イメージーションと感性をくすぐるアコースティックな生演奏とナイーブな語りに触発された人形は想像の海にたゆたい、空を駆け、草原を走る。言葉・人形・音楽が織りなすSessionを通して、人の在り方フィロソフィーをナチュラルに刺激することができるこの作品は、子ども達の情操教育として大変意義が有ると考えています。													
	児童・生徒の参加または体験の形態	小学校…高学年の生徒が適しています。中学校…どの学年でも可。 生徒とかわせみ座の出演者(人形)のワークショップを経て、本公演の後に小作品(約15分)を発表公演をします。 予定参加人数:クラス・学年単位、10～50名程度。(これ以上の人数の参加をご希望の場合はご相談ください) お面、小道具、身体表現を媒体として演じ、日本の伝統的な所作を踏まえた、美しい詩のような小品を上演します。 舞台空間で共にひとつの作品を創造する、体験することの素晴らしさを伝えます。 また公演終了後15分程度、人形操作や楽器の解説、生徒さんの質問にお答えする交流(アフタートーク)を行います。													
	児童・生徒の参加可能人数	本公演						参加・体験人数目安			10～50人程度(多人数の場合は要相談)				
								鑑賞人数目安			50～500人程度				
	本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	「SessionYoshiya・語り」マリオネットアーティストと生演奏&朗読家が紡ぎ出す素敵なコラボライブ 作・原案／かわせみ座 詩／中原中也「幻影」「月夜の浜辺」、八木重吉「息を殺せ」「はらへたまってゆくかなしみ」、水谷まさる「お菓子」「ジャム地獄」、竹久夢二「わたしとかげ」、立原道造「メヌエット」、太宰治「女生徒」他 詩構成・振付／原きよ 構成・演出／山本由也 音楽構成／海沼正利 舞台・人形美術／山本由也 照明プラン／山岡靖典 「烏天狗と里山の精霊まんまんもー」 出演…かわせみ座と生徒の皆さん 短歌／種田山頭火、小林一茶、松尾芭蕉 作／かわせみ座 構成・演出／山本由也 舞台・人形美術／山本由也 作曲／海沼正利・上野山英里 「人形と楽器の解説」 解説…山本由也・原きよ・海沼正利・上野山英里・森永あいり													
		公演時間	90	分											
出演者	山本由也(マリオネットアーティスト) 原きよ(語り、朗読家、役者) 海沼正利(音楽家、パーカッション、カヌーン、スチールパン) 上野山英里(音楽家、ピアノ、キーボード、フルート) 森永あいり(司会、役者)														
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度／名	山本由也(マリオネットアーティスト)…1975年「竹田人形座」(東京都無形文化財)に入団。竹田喜之助氏に師事。1982年独立「かわせみ座」創立。以来独自のシステムと操作方法の人形を作り続けている。ユニークな人形操作と人形表現は唯一無二。 原きよ(語り、朗読家、役者)…朗読を長谷由子氏に師事。音楽家と共演も多数。自主企画「響き合いプロジェクト」では様々な音楽家と文学や童話で共演。朗読集団「コトザウルス」、劇団「シアターRAKU」所属、成蹊大学非常勤講師。 海沼正利(音楽家、パーカッション、スチールパン)…ノンジャンルのマルチパーカッショニスト。カリビアングループTumbaCreole、を主催。ソロ活動や舞台作品も発表し、作・編曲、舞台音楽や演出も手掛けている。														
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 5 名 スタッフ: 6 名 合 計: 11 名						運搬			積載量: 2 t 車 長: 6.3 m 台 数: 2 台					


本公演・ワークショップの内容	本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の目安	前日仕込		無		前日仕込所要時間			時間程度
		到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出	
		8:00	8:00～13:30		90分	無し	15:00～17:00	17時頃	
		※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。							
	本公演 実施可能日数 目安 ※実施可能時期については、採択決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。	6月		7月		8月		9月	
								10日間	
		10月		11月		12月		1月	
		15日間		15日間		10日間		10日間	
		※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		#VALUE!	
	公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出がわかる写真)								
<p>基本として体育館の舞台を使用。 各学校の舞台スペースに合わせて設営。 バックを黒幕でおおい、サイドに黒の袖を設置。 舞台床面に黒いカーペットを敷き舞台全体を黒くする。</p>									
									
<p>舞台下手にベンチ(道具)と楽器をセット。 舞台奥と上手に人形をディスプレイ。</p>									
※会場条件について最低限必要な条件がある場合には、様式No.4内「会場簡易図面」を記載									
	<p>ワークショップで稽古した作品を発表</p>								
著作権、上演権等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要否					該当コンテンツ名			
	該当事項がある場合	権利者名				許諾確認状況			

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名】 かわせみ座

ワークショップの内容

ワークショップのねらい	ヨーロッパの学校教育では「演劇および表現」を取り入れた教科があります。子供達は言葉を使ったり、言葉を使わずにコミュニケーションを取る表現手段を学習します。その表現の延長上に演劇があります。今回のワークショップでは、生徒達が烏天狗役で声を発声したり演じたりする以外に、自身の体と道具使って木々や森の気配などを表現します。本番に向け劇団員と協力し合い創り上げていきます。生徒達はワークショップの中で作品に対するイメージを高め、本格的な舞台表現を経験します。感性、想像力、表現力、努力、協力など多くの事を培う事のできる、格好の情操教育と位置づけております。作品全編に渡り生徒と劇団員が共に一つの作品を完成させます。その過程と上演を経験することで、生の舞台芸術を丸ごと体験する事が出来ます。エキストラではなく、自分が使う烏天狗面を作ることから始め、自作したお面を使って共演する事への喜びが、生徒達の前向きな意欲につながります。		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	16～50名
ワークショップ実施形態及び内容	<p>オブジェ、小道具を使って、子ども達と共に舞台を遊ぶ～ 「烏天狗と里山の精霊まんまんもー」(約15分の小作品)</p> <p>あらすじ… 生演奏の中、山頭火や小林一茶、松尾芭蕉の短歌をちりばめた、楽しく叙情的な作品です。 ある日、里山の大きなブナの木に棲む精霊まんまんもーは、ブナの実を持って山頂の森に暮らす烏天狗たちに会いに行きます。 草花、森の木々のざわめき、そよぐ風、息づくものたちの気配… 山頂では烏天狗たちが迎えてくれます。烏天狗(生徒達)と共に遊ぶまんまんもー。 楽しく遊んでいると、日暮れに気付いた烏天狗たちが鳴き出します。 皆とさよならの挨拶をして別れ、木々の合間をくぐり抜け里山へまんまんもーは帰っていくのでした。</p> <p>ワークショップ 事前にかわせみ座の出演者と共に、ワークショップで作品の稽古をします。 稽古の前に舞台で使用する烏天狗のお面を作ります。 ワークショップの中で身体や物を使い、森の草花、木や烏天狗を演じます。 生徒たちには想像力を膨らませて表現を楽しみ感性を育む体験をしてほしいです。 プロの生演奏の中、お面を使っての演技、人形と共に物語を演じる事は不思議な経験です。 短歌の魅力、季節に自然に生き物に優しく思いをはせる感性の大切さに気付いて欲しい作品です。</p> <p>公演当日、本番前の1時間、本番と同じ照明と演奏の中、リハーサルをおこないます。</p> <div></div> <p>ペーパークラフトの烏天狗面</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等			

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名	かわせみ座	】
--------	-------	---

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。

- ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
- ・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
- ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。

上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。

任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。

詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。

なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件

(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。						
会場の設置階の制限		条件なし		主幹引き込み電源容量		60 A以上	
舞台設置面積	間口	9 m		奥行	5.4 m		
	高さ	4 m					
舞台設置場所	フロア対応	不可		学校のステージでの対応		可	
搬入間口の広さ	幅	1 m		高さ	1.8 m		
遮光の要否	7割程度必要		緞帳の要否			不要	
ピアノの使用について	あれば必要に応じて使用する		ピアノを使用する場合の設置位置の指定			あり	
			ピアノを使用しない場合の移動の要否			要	
搬入車両(トラック等)の横づけ	応相談		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離			20 m以内	
搬入車両の種類	中型トラック		台数	2 台			
搬入車両の大きさ	車幅	2.2 m		車長	6.18 m		
備考	2tトラック…1台 グランドキャビン(W1880cm x D5380cm)…1台						

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報

(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
会場図面の提出要否		
その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)		

時間外対応

(任意)

万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。

なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。

※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。

	対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
ワークショップ					
ワークショップ					
本公演					
本公演					

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。
		個別ヒアリング事項
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	

	(任意)	会場条件について最低限必由奈条件がある場合、簡易図面を記載してください。
	※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。	

会場簡易図面

体育館
舞台

舞台袖

9m

5.4m

6m

鑑賞位置

間口

後方

トラック

前方

体育館
フロア

パネル

鑑賞位置

別添	なし
----	----

【公演団体名 かわせみ座 】

本事業への応募理由等

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫	【本事業を通じて実現したいこと】 「SessionYoshiya・語り」はかわせみ座独自のSession作品です。 約10年にわたり、多ジャンルの音楽家、語り手とマリオネット操演のユニークな舞台を多くの観客の方々にご覧頂いてます。 独自のマリオネットから生み出される卓越した表現、語り部が語る日本語の美しい詩や言葉、舞台上で紡がれる生演奏と照明が織りなす総合芸術です。イマジネーションと感性をくすぐり、五感を刺激し想像力を豊かにする作品は子ども達の情操教育として大事なものと考えます。 日本のアニミズムには、生き物たちや自然環境への想像力と共生の思想があります。近年、子ども達の苛めやコミュニケーション能力の低下が社会問題となっていますが、解決への糸口として重要なのは、自分とは異なる「他者の存在への受容」と「他者への想像力、思いやる気持ち」だと考えます。ますます生の舞台芸術鑑賞の機会が減少している昨今、本物の舞台芸術を肌で感じていただきたい。
	【上記の実現に向けて、実施の工夫】 ワークショップでは、生徒自身が使う鳥天狗のお面を作ります。自分のお面を使用して、劇団と生徒たちが協力し合い稽古を経て作品を上演します。 本物の舞台に立つ事、表現する事は、豊かな感性を育み、将来への自信と夢に繋がるきっかけになると考えています。 舞台装置等を使わず、学校の体育館をパレットとしてモノトーンな劇場空間に仕上げます。人形、語り、演操、照明のパステルで、様々な絵を描き、観客の想像力が色彩を生みます。あえて、台詞や物語で説明しないからこそ固定的なイメージに束縛されない、自由な発想と感受性が育まれます。
事業を適切かつ円滑に実施するための工夫	【学校との連絡調整について】 事前に、電話、メール、FAX、ショートメールなどの様々な方法で、先生のご都合に合わせた連絡の対応をしています。さらに劇団担当者の携帯電話をお伝えし、どんな小さな疑問でもすぐに御連絡いただけるような体制をとっております。 学校のご担当者との打合せは、劇団側で打合せ表を作成し、事前ワークショップの時にお渡しして綿密に打合せをさせていただきます。体育館を使用するにあたりいくつかのお願いをさせていただきますと同時に、学校側のご要望にも真摯に対応させていただきます。 この事業のイメージがしにくい先生方には、前回收録した学校公演の映像をご視聴頂けるように対応しています。 夏に事前ワークショップを実施する場合は、実施時間を午前の早い時間帯に設定したり、エアコンの効く教室で実施したり、扇風機や冷風機をご用意いただいたり、水分補給をこまめにおこなうように心がけております。極力、暑い時期での本公演を避け、暑い場合、窓や扉を開けて本番をおこなう。体育館への各自水筒を持参のお願い。人形解説の時間を短縮したりと、生徒達の体調を第一に考えて、先生方と相談しながら毎回工夫する。
	【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】 学校へ事前に台本を送付して、ワークショップまでに生徒達に眼を通してもらい、当日に指導者と生徒がコミュニケーションを取りやすいようにします。 ワークショップを実施することで、物語を想像すること、演じること、音楽に合わせること、身体や物、お面を使って表現すること、お互いの動きを理解して協調すること、個々のパートで役を演じ表現すること等々、一つの作品に向けて多くの演劇的要素を体験します。情操教育的観点からいっても、多角的に舞台芸術を体験することが出来ます。ただ観るだけではなく、演じ手としての感性と想像力を持つことで、本公演をより深く楽しめるようになります。
	【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】 CGではないマリオネット表現。詩や物語を美しい日本語で語る朗読者。その場の空気感、物語、人形に添った即興を交えた演操、そして照明。生の舞台を体感することで、生徒自身の想像力、発想力、表現力を培える作品作りをしています。身の回りの自然や現象に興味を持つこと、スマホやSNSから離れて楽しむ術、本などの文字世界に心を手向ける心を少しでも養えるきっかけになれば嬉しい限りです。

一般区分・特別エリア区分共通			
別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。			
リンク先	No.2	【公演団体名	かわせみ座
「SessionYoshiya・語り」 チラシ	<div><div><p>山本由也（マリオネットアーティスト） 糸操りの竹田人形座を経てかわせみ座を創立。人形美術や表現の探究、マリオネットタイプ（従来の劇人形に該当しない独自の操作法）の構造を考案、デザイン・製作して操演。 舞台美術・演出も手掛ける。「人形」が道具ではなく、人形自身が役者として存在する舞台、人形が自由に軽やかに演技舞う、人形だからこそ可能な表現を追求。 2020年12月 山本がかわせみ座で創作した劇人形の作品集「GREAT MARIONETTE」を出版。 http://www.kawasemiza.com</p></div><div><p>原きよ（朗読家、ナレーター、俳優） 朗読を長谷由子に師事。太宰治の朗読を得意とし、太宰の故郷青森県五所川原市金木の「太宰治疎開の家」での朗読会をはじめ、三鷹市を拠点に活動。音楽家と共演のコンサートも多数。 自主企画「響き合いプロジェクト」では様々な音楽家と文学や童話で共演。90歳の共演者と戦争文学を伝える「三月の羊」など独自の作品が好評を得ている。 （株）マックミック所属、朗読集団「コトザウルス」、劇団「シアターRAKU」所属、文化庁芸術家派遣事業アーティスト。</p></div><div><p>海沼正利（パーカッション） ノンジャンルのマルチパーカッショニスト。カリビアングループTumba Creole、アラブの琴カヌーン3人によるQanun.3などを主催。また、ソロ活動や舞台作品も発表し、作・編曲、舞台音楽や演出も手掛けている。2022年公開の太宰治映画『鳩のごとく 蛇のごとく斜陽』の劇版音楽を担当。 オフィシャルサイト：http://www.office-batucada.net</p></div><div><p>上野山英里（ピアノ、キーボード） インターナショナルエレクトーンコンクール・ポピュラー部門第1位受賞。フィギアスケート「フィリップ・キャンデロロ」ショーでの演奏や、NHK テレビ、ラジオの音楽制作等 作曲家としても活躍。これまで全曲オリジナルによる2枚のリーダーアルバムをリリース。ツアー・ライブサポート歴は、城南海、手嶋葵など。洗足大学音楽学部講師も務める。https://erienoyama.jimdofree.com/</p></div><div></div></div>		

		一般区分・特別エリア区分共通	
		別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。	
リンク先	No.2	【公演団体名	かわせみ座
		】	
「SessionYoshiya・語り」チラシ		 A poster for the performance 'SessionYoshiya + 語り'. The background is dark with a large, stylized title 'SessionYoshiya' in pink and blue. Above the title, there is a curved banner with the text 'マリオネットアーティストと音楽&朗読家が紡ぎ出す魅惑のコラボライブ' (A magical collaboration live performance spun by marionette artists and music & storytellers). Below the title, there is a smaller banner with the text '舞台空間で素顔に演技する人形たち・独創的な人形構造&操作方法・ユニークな人形表現' (Puppets performing on stage space with their true faces, unique puppet structure & operation methods, unique puppet expression). In the foreground, a woman with dark hair in a bun, wearing a blue polka-dot shirt and a dark apron, is sitting on the floor. She is holding a string attached to a small, pink, doll-like figure with long red hair. The figure is standing and looking towards the woman. In the background, there are other puppets, including a tall, thin, grey one. The poster also includes a list of performers: 山本由也 (Marionette Artist), 原きよ (Storyteller, Puppeteer), 海沼正和 (Percussion, Cymbal), and 上野山英里 (Piano, Keyboard, Flute). It also lists the lighting designer (ジェイ・エー・シー), stage director (緒々喜大介), and photographer (出原麗). There is a quote at the bottom right: '何も無いはずの舞台が、果てしない空になり、海になり、山になる。人形たちはそうぞうりよくの翼を羽ばたかせ、軽やかに宙を舞い、音の流れに身をまかせる。' (The stage, which should be empty, becomes an endless sky, sea, and mountains. The puppets flutter their wings so gracefully, dance lightly in the air, and let themselves be carried away by the flow of sound.)	